

6 がっひかりごう

令和 6 年 6 月 1 日 輝 保 育 園

暑い日が続きましたが、こどもたちは元気いっぱいです。 外で遊ぶことが楽しみで、準備も早くなります。 三輪車やスケーター、虫探しと興味のあることに一生懸命になっています。 これからいよいよ梅雨入りです。 今までのように戸外での遊びはできなくなりますが、室内での遊びを工夫しながら過ごしていきます。

(((カ ビ に 注 意)))

カビが発生しやすい時期です。

食事用エプロンのポケットの内側、水筒のパッキン部分など、普段より丁寧に洗い、清潔を保っていきましょう。



★ 保 育 参 観 ★

0 ～ 2 才は、こっそりと覗いていただきます。

3 ～ 5 才は、一緒にお過ごしてください。

今月末、0 才児からのスタートです。

家庭での姿とは違う一面がみられるかもしれません。

お楽しみに。



= 6 月 の 行 事 予 定 =

4 日 (火) 避難訓練

21 日 (金) 誕生会・身体測定

《 《 《 お 願 い 》 》 》

1. クリアケースの中と、お便り帳を毎日確認してください。
2. お金などの貴重品は、必ず職員に手渡しをお願いします。
3. 持ち物や衣類には名前の記入をお願いします。 名前が薄くなっていないか、もう一度確認をして下さい。
4. 夜更かしをさせず、早寝・早起をし、しっかり朝食を摂りましょう。
5. 毎日入浴させ、清潔にしましょう。

☆☆ 家庭の取り組み ☆☆

生活リズム

生活習慣づくりのポイント！

子どもの将来のために

家族の生活習慣を見直し、協力しながら取り組むことが大切です。

子どもたちの健やかな成長のためには、早寝・早起きの生活習慣や正しい食習慣、運動習慣を確立させるとともに、家族でテレビ視聴等のルールを決めたり、自分の将来の夢や希望等について話し合ったりするなど、日頃から家族間のコミュニケーションを増やすことも重要です。

子どもへの過剰な保護は、生活習慣の定着を阻害します！

☆ 世話し過ぎ

何でも人に頼ってしまう。 自分で出来なくなってしまう。

☆ 指示し過ぎ

自分で考えず、指示を待ってからでないと行動できなくなってしまう。

☆ 言葉の先取り

豊かなコミュニケーション力が身に付かない。

☆ 与えずぎ

物のありがたみがわからなくなってしまう。

☆ 受容し過ぎ

自分の思いが通らないときにいらだつ。

など

「教育力向上福岡県民運動
ホームページ」より抜粋

こ ども の よ う す

たんぽぽぐみ
0 才児



みんなで朝のお集まりを始めました。 ランチルームの食卓台に座り、全員集合です。 朝のご挨拶の前に「むすんでひらいて」や「きらきら星」などの歌を歌います。 ピアノの音が聞こえてくると目の前の保育士の真似をして、手を叩いたりキラキラさせたり、体を揺らしてリズムに合わせています。 お名前呼びではそれぞれ名前を呼ばれると手を上げますが、みんなが集まっている場ではなかなかしてくれません。 しかし、お友だちの名前が呼ばれると違う子が 2、3 人手を上げたり手を上げる前に拍手したりと面白おかしい姿も見られます！ 拍手はみんな上手でたくさんの拍手を送ってくれます。 全員で参加できとても楽しい時間になっています。

たんぽぽぐみ
1 才児



天気が良い日は、たんぽぽ園庭に出て遊んでいます。 葉っぱを集めることが好きな子は、両手にたくさん葉っぱを持って保育者に嬉しそうに見せに来てくれたり、葉っぱのプレゼントを渡してくれます。 虫に興味がある子は、たんぽぽ園庭内を下を向いて歩きながら、ダンゴムシを見つけると、地面にうつ伏せになり、ダンゴムシをより近くで観察したり、触ってみたりと興味津々です。 見る楽しさもありますが、ダンゴムシが近づいてくると、驚きもあり「キャー」と言い、逃げる姿も見られます。 日々遊んでいると、ダンゴムシがいる場所を覚え、真っ先に向かう子もいます。 これから、さらに暑くなる日が続いていきます。 水分補給もしっかり行いつつ、戸外活動ならではの様々な発見を子どもたちと一緒に共感していきながら、戸外遊びを楽しんでいきます。

すみれぐみ
2 才児



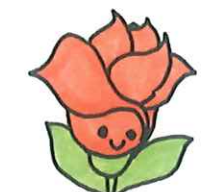
新年度になり、早くも 2 カ月がたちました。 連休明けは寂しくて泣く子もいましたが、2 才児の生活にも慣れ、毎日泣いたり笑ったりと元気な声が響きわたっています。 5 月は話を聞くこと、椅子にきちんと座ることを重点に取り組んできました。 しかし、なかなか難しいようです。 先月もお伝えしましたが、食事中、活動中に突然立ち上がり、部屋の中を動き回る、テーブルの下にもぐるなどの姿が見られ、落ち着いて生活することができていません。 また、食事で遊びだす子もいます。 園と家庭が協力することで、子どもたちの生活環境、教育環境が整います。 社会のルールやマナーをしっかりと身に着けるために、大人が見本とならなければなりません。 主導権は子どもではなく大人にあるということをしっかり理解させ、引き続きご家庭でも声掛けをお願いします。

ちゅうりっぷぐみ
3 才児



一日の流れを覚えたことで場面の切り替わりがスムーズになりました。 苦戦していたお弁当包みも上達しています。 手の洗い方、拭き方には課題が見られます。 水で手を濡らした後に石鹸をつけこすって洗うことや、洗い流した後は水をきる事、ペーパーは広げたまま使い手の甲もきちんと拭いて丸めて捨てる事など、取り組んでいます。 保育活動には泥んこ遊びを取り入れました。 水や泥は可塑性が高く子ども達の五感を心地よく刺激してくれます。 様々な感触をもつ泥は、好奇心旺盛な子ども達にとってこれ以上ない遊び道具です。 裸足で遊んだことで、手の平だけでなく足の裏から伝わる感触も楽しみました。 「ザラザラするね」、「ヌルヌルするね」、「こっちはちょっと暖かいね」など様々な気づきを友達と共有し「楽しかったね！」と笑顔溢れる活動となりました。

ばらぐみ
4 才児



少しずつ年中組での生活にも慣れてきたようです。 JA から頂いたトマトに水やりや観察をして、「ねえ、見て！」と花や実を見つけるたびに大きな声で教えあう子ども達。 どのように変化しながら大きくなるのか、その収穫も楽しみのようです。 最近は「もったいないばあさん」の絵本にも興味津々。 言葉の響きも面白いようで「もったいない」について子ども達と考えるよい機会となっています。 また、友だちのしていることに興味をもち、自分から関わって遊ぶ姿もよく見られます。 その中で自分の思いが通らないこともあります。相手の思いに気づいたり関わり方を知ったりするよい機会と捉え、仲立ちをしたり見守っています。 6 月も汗をかいいたときの着替えや衣服の調節水分補給など、心地良く過ごすための生活の仕方を身につけられるように取り組んでいます。

ひまわりぐみ
5 才児



ひまわり組の流れにも慣れ、お集りでは季節の歌の歌詞を覚えて歌ったり、背中を伸ばし大きな声で道場訓を言ったり、欠席者や人数の確認をしたりしています。 人数確認は保育者が指をさしていくのに合わせて一人ずつ順番に数えています。 しっかり保育者の方を見て、友だちが言っているのを聞いていないと数えることができません。 人数確認を始めた頃は保育者の方を見ていなかったり、保育者の指差しに合わなかったりしてなかなか数え終わることができませんでしたが、最近は以前よりスムーズに数えられるようになってきました。 6 月からは運動会へ向けて鼓隊に取り組んでいます。 まずは果物や野菜の名前でリズムを覚えます。 鼓隊を通して友だちとの関係を深め、友だちと心をつなげて取り組む楽しさを味わい、クラスの団結力が高まることを期待しています。